

有限会社インテグレイテッドシステムズ環境行動計画

取組方針

有限会社インテグレイテッドシステムズは、コンピュータを活用した経営の省力化、効率化を推し進めるとともに、地域情報の効果的な発信事業を推し進める中で、地球環境保全と、「世界農業遺産」に登録された能登地域の環境保全が地球規模、地域規模での重要な課題であることを認識し、環境との調和を図りながら事業の推進と地域事業所の省エネルギー化に努めます。

地域事業所へのコンピュータシステム導入に当たっては簡便に利用できる環境を構築し、かつ省エネルギー機器の選定を重視することで導入以前と比べて省エネルギーで効率的な事業活動を行える環境を整え、弊社事業に関してもペーパーレス化など環境に配慮した事業活動を取り入れ、環境負荷をできるだけ縮減するように配慮します。

- ① お客様に簡便に利用していただけるコンピュータ環境を構築し、不要に長時間作業にならないシステム構築を行います。
- ② お客様への情報機器導入時の選定には電力消費量の少ない機器を重点的に取り入れるよう環境に配慮します。
- ③ 社内事業の推進に当たって、環境保全活動が定着するように、特に、省エネルギー、省資源に努めます。
- ④ 廃棄物の適正管理に努め、削減に努めます。

平成25年 6月14日

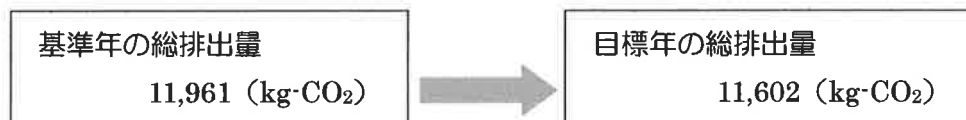
有限会社インテグレイテッドシステムズ

取締役社長 櫻井 浩一

3 環境負荷の低減目標

26年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも24年です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を3%削減する



【目標2】 一般廃棄物の排出量を10%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を5%削減する



【目標4】 電子機器の清掃（通気ファンなど）を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(サービス部門での活動)

- ・ システム導入マニュアルを作成し、システム構築作業の効率化を行う
- ・ 人材育成を推進し、作業の迅速化を行う
- ・ 低消費電力製品の導入を進める
- ・ コンピュータ動作設定として低消費電力モードを推奨する
- ・ 24時間稼働機器を低消費電力製品に切り替える
- ・ 情報機器の高集積化を図り、常時動作機器の台数削減を行う

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時28度、暖房時20度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 常時使用しない電子機器の電源OFFを徹底する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める

- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 購入書籍の電子化を進め、紙ごみ排出を低減する。
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める
- ・ 客先提出書類の電子データ提出を進める

【取組4】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 電子データの自動バックアップ機能により情報紛失リスクに備える
- ・ 情報機器の清掃を徹底し、長寿命化を行う
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する
- ・ 地域環境保全活動へ積極的に参加する

5 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき、環境保全活動を効果的に実施するため、環境活動責任者を中心に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。